

安立寺(あんりゅうじ) 川崎市多摩区東生田 1-27-1

川崎市の武州稲毛七福神のうち、毘沙門天を祀っている安立寺に行く。本寺は弘治 2 年 (1556 年)、佐伯隼人吉行が法華宗に改宗し、釈迦堂を法華信仰の道場とした。その際、妙典院日玩という僧が院代として遣わされたと推察されている。

その後、天正 6 年 (1578 年) に佐伯六左衛門吉連が釈迦堂を改めて伽藍と成し、摩訶院日等を開山に迎えて浄言山安立寺と称した。なお、山号は元禄 4 年 (1691 年) 以降に浄言山から法言山に改められている。本尊は立体の十界曼荼羅で、その他には准西国稲毛三十三所観音の一である正観世音菩薩が安置されている。主尊は帝釈天 (尊像は庚申信仰の本尊である青面金剛明王像)。他に、七面大明神・三十番神・鬼子母神・大黒天・毘沙門天・金色大天女等が安置されている。



参道入り口



手水舎にもお供えが



本堂



こちらに毘沙門天が座しているが光ってよく見えない



浄行菩薩像